令和２年度　教育研修員募集要項

群馬県総合教育センター

１　趣　旨

教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研修を通して、教員の資質向上を図るとともに、本県幼児、児童生徒の学力向上と健全育成に資することを目的として、本要項により教育研修員を募集する。ただし、高等学校及び中等教育学校（後期課程）に勤務する者の長期研修員の募集については別に定める。

２　研修の種類

(1) 長期研修

本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導力や助言力を高めるとともに、所属校・園や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

(2) 長期社会体験研修

企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

(3) 特別研修

授業実践等を通して、教科等の指導力を高めるとともに、所属校・園や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

３　募集人員等

	長　期　研　修	長期社会体験研修	特　別　研　修
募集人員	２５名程度 注1	５名程度	５０名程度
研修期間	令和２年４月１日　から　１年間		
研修場所	総合教育センター 及び所属校・園等	研修先企業等 及び総合教育センター	総合教育センター 及び所属校・園等 注2
応募資格	１　本研修の趣旨に沿って積極的に研修する意欲のある者 ２　教育公務員特例法で定める研修の対象者でない者		

注１　長期研修員の募集人員には、別途募集の高等学校及び中等教育学校（後期課程）に勤務する者の２名を含む。

注２　特別研修における総合教育センター等の研修は年間２５日。

※令和２年度以降の教育研修員については、法定研修以外の経験者研修を免除する。
ただし、希望がある場合は、受講を認める。

４　研修内容

(1) 長期研修

○　国の動向や県教育委員会の指導方針を踏まえて、教育課題の解決に向けた研究及び研修を行う。

○　所属校・園の校内研修に積極的に参画し、実践的な指導力や助言力を高める。

(2) 長期社会体験研修

○　企業等における研修を通して社会的識見を高めるとともに、学校組織の活性化に資する研修を行う。

○　研修の成果を本県のキャリア教育の充実に生かす。

(3) 特別研修

○　幼児、児童生徒の実態に応じた授業実践等を通して、指導方法や評価方法の改善に資する研究及び研修を行う。

○　積極的に授業公開を行い、教職員の教科等の指導力向上に寄与する。

※上記研修内容等の詳細は、「教育研修員研修プログラム」（総合教育センターWebページ掲載）を参照

５　研修領域及び研修先業種

(1) 長期研修の研修領域

番号	領　　域	番号	領　　域
①	国語	⑭	道徳
②	社会、地歴、公民	⑮	総合的な学習（探究）の時間 注６
③	算数、数学	⑯	特別活動
④	理科	⑰	幼児教育、幼小連携・接続
⑤	生活	⑱	特別支援教育
⑥	音楽	⑲	生徒指導、教育相談
⑦	図画工作、美術	⑳	健康教育
⑧	体育、保健体育	㉑	教育の情報化 注３
⑨	家庭、技術・家庭	㉒	教育史 注４
⑩	外国語、外国語活動	㉓	小学校プログラミング教育
⑪	農業	㉔	外国人児童生徒等への日本語教育 注５
⑫	工業	㉕	高校教育の改善 注６
⑬	商業		

注３　「教育の情報化」は校務の情報化に関する研究とし、教科指導におけるICT活用については各教科で、情報モラルについては道徳で取り扱う。

注４　「教育史」は、昭和４０年以降の本県の教育史に関する調査研究とする。

注５　「外国人児童生徒等への日本語教育」は、外国人児童生徒等に対する日本語指導に関する研究とする。

注６　「総合的な探究の時間」及び「高校教育の改善」については、高校長期研修（別途募集）として扱う。

(2) 長期社会体験研修の研修先業種

番号	業　　種	番号	業　　種	番号	業　　種
①	農業、林業	④	情報通信業	⑦	その他
②	運輸業	⑤	卸売業、小売業		
③	製造業	⑥	金融業、保険業		

(3) 特別研修の研修領域

番号	領　　域	番号	領　　域
①	国語	⑫	農業
②	社会、地歴、公民	⑬	工業
③	算数、数学	⑭	商業
④	理科	⑮	道徳
⑤	生活	⑯	総合的な学習（探究）の時間
⑥	音楽	⑰	特別活動
⑦	図画工作、美術	⑱	幼児教育、幼小連携・接続
⑧	体育、保健体育	⑲	特別支援教育
⑨	家庭、技術・家庭	⑳	生徒指導、教育相談
⑩	外国語、外国語活動	㉑	健康教育
⑪	情報 注７	㉒	外国人児童生徒等への日本語教育 注8

注７　「情報」は高等学校及び中等教育学校（後期課程）を対象とする。

注８　「外国人児童生徒等への日本語教育」は、外国人児童生徒等に対する日本語指導に関する研究とする。

６　応募方法

(1) 募集要項等の受理

応募を希望する者は、所属長から必要な書類を受理する。なお、総合教育センターのＷｅｂページ上からダウンロードすることができる。

※以下については学校・園籍ごとに様式が異なるので留意すること。
様式２－１、２…幼稚園等、小・中学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校籍用
様式２－３、４…高等学校、中等教育学校（後期課程）籍用

(2) 応募書類の作成

募集要項及び各様式の注意事項を確認の上、様式１から様式４に必要な事項を記入する。その際、ディジタルデータを使用してもよい。

(3) 所属長への提出

応募を希望する者は、様式１から様式３を一括して所属長に提出する。

【１１月１９日（火）まで】

(4) 各所属長の提出様式、提出先、提出期日

校　種	様　式	提　出　先	提出期日
幼稚園等 小・中学校 市立特別支援学校 市立中等教育学校（前期課程）	様式１、様式２－１又は２－２、 様式３、様式４	市町村教育委員会	11月26日（火）
市立高等学校 市立中等教育学校（後期課程） 学校組合立学校	様式１、様式２－３又は２－４、 様式３、様式４	市町村教育委員会、 学校組合教育委員会	11月26日（火）
県立中等教育学校（前期課程） 県立特別支援学校	様式１、様式２－１又は２－２ 様式３、様式４	応募書類を一括して 県総合教育センター	12月3日（火）
県立高等学校 県立中等教育学校（後期課程）	様式１、様式２－３又は２－４ 様式３、様式４	応募書類を一括して 県総合教育センター	12月3日（火）

(5) **市町村等教育委員会の提出様式、提出先、提出期日**

① 市町村教育委員会は、様式４に所定の事項を記入し、応募書類を一括して当該教育事務所長へ提出する。 【１２月　３日（火）まで】

② 高校・中等教育学校を設置する市・学校組合教育委員会は、様式４に所定の事項を記入し、応募書類を一括して総合教育センター所長へ提出する。

【１２月　３日（火）まで】

(6) **教育事務所の提出様式、提出先、提出期日**

教育事務所長は、応募書類を取りまとめ、別に定める「応募者一覧」を添えて、県総合教育センターへ提出する。 【１２月１０日（火）まで】

７　選考及び結果通知

(1) **選考**

「教育研修員選考委員会」において選考を行い、県教育委員会教育長が決定する。

(2) **決定通知**

選考結果は、令和２年３月に所属長から応募者に通知する。

（県立学校については直接、市町村立学校・園及び学校組合立高校については当該市町村・学校組合教育委員会を通して所属長あて通知する）

８　その他

(1) **研修員の旅費**

総合教育センター又は所属負担とする。（従来どおり）

(2) **過年度の教育研修員の研修成果**

総合教育センターＷｅｂページに掲載してあるので必要に応じて参考にすること。

(3) **照会先**

群馬県総合教育センター　研究企画係（荻原、内田）
住　所　〒372-0031　伊勢崎市今泉町１－２３３－２
電　話　0270－26－9212(研究企画係直通)
Ｗｅｂ　URL http://www.nc.center.gsn.ed.jp/

（様式１）

令和元年１１月　　日

群馬県教育委員会教育長　様

学校・園名

職 ・ 氏 名　　印

教育研修申込書

令和２年度教育研修員として研修したいので、関係書類を添えて申し込みます。

１　希望する研修

希望	研修の種類	研修領域・研修先業種		
	長期研修	第１希望	番号（　　）	領域名（　　）
		第２希望	番号（　　）	領域名（　　）
		第３希望	番号（　　）	領域名（　　）
	長期社会体験研修	第１希望	番号（　　）	業種名（　　）
		第２希望	番号（　　）	業種名（　　）
		第３希望	番号（　　）	業種名（　　）
	特別研修	第１希望	番号（　　）	領域名（　　）
		第２希望	番号（　　）	領域名（　　）
		第３希望	番号（　　）	領域名（　　）

注１　「希望」の欄に、丸を記入する。なお、複数の研修に重複して応募する場合は、「希望」の欄に希望順位を丸数字で記入する。

注２　長期研修及び特別研修に応募する者は、希望する研修領域の第１希望から第３希望までを一つずつ選んで表中の番号で記入する。なお、長期研修に応募する者は、希望の中に領域⑭から㉔を必ず一つ選んで記入する。

注３　長期社会体験研修に応募する者は、希望する研修先業種の第１希望から第３希望までを一つずつ選んで表中の番号で記入する。

２　所属校の校・園内研修の予定（令和２年度）

教科・領域　等			
研究指定の有無	有 ・ 無	指定機関	国 ・ 県 ・ 市町村 ・その他

注４　令和２年度の校・園内研修の教科・領域が未定の場合は、令和元年度のものを記入する。

注５　研究指定の有無及び指定機関の欄は、該当するものを丸で囲む。

（様式２－１）※高等学校、中等教育学校（後期課程）籍以外の学校・園籍【長期研修・特別研修】

履　　歴　　書

（令和２年３月３１日現在）

氏（ふりがな）名		生年月日	昭和・平成 年　月　日 （　　歳）
所属校・園		職員番号	
現 住 所	（　　－　　－　　）		
最終学歴	（昭和・平成　　年　　月　卒・修）		
教育職員免許状（すべて記入）	小学校（専・１・２）　養　　護（専・１・２）　栄　　養（専・１・２） 中学校（専・１・２）【　　】　特別支援（専・１・２） 高　校（専・１）【　　】　幼 稚 園（専・１・２）		
校務分掌	学年（担任・担任外）　　分掌		
資 格 等		運転免許	有　・　無

研　修　歴		職　　歴	
研　修　名	研修年度	勤　務　先　名	勤務年数
教育研究所（　　）		教職経験年数	年

注１　現住所は市町村から記入し、（　　）内には電話番号を記入する。
注２　教育職員免許状は、所持しているものすべてを記入する。（　　）内は該当区分を丸で囲み、【　　】内は教科や分野を記入する。
注３　研修歴、職歴は古い順から記入する。（欄が不足する場合は適宜追加して記入する）
注４　教育研究所の（　　）内には研修の内容を記入する。

上記の内容について、事実と相違ないことを証明します。

令和元年　　月　　日

立　　校長・園長　　公印

（様式２－２）※高等学校、中等教育学校（後期課程）籍以外の学校・園籍【長期社会体験研修】

履　　歴　　書

（令和２年３月３１日現在）

氏（ふりがな）名		職員番号		写真貼付 （上半身） 4cm×3cm
生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日　（　　歳）			
所属校・園				
現 住 所	（　　－　　－　　）			
最終学歴	（昭和・平成　　年　　月　卒・修）			
教育職員 免 許 状 （すべて記入）	小学校（専・１・２）　養　　護（専・１・２）　栄　　養（専・１・２） 中学校（専・１・２）【　　】　特別支援（専・１・２） 高　校（専・１）【　　】　幼 稚 園（専・１・２）			
資 格 等		運転免許証	有・無	
研 究 ・ 研 修 等				

研　　修　　歴		職　　歴	
研　　修　　名	研修年度	勤　務　先　名	勤務年数
教育研究所（　　）		教職経験年数	年

注１　現住所は市町村から記入し、（　　）内には電話番号を記入する。
注２　教育職員免許状は、所持しているものすべてを記入する。（　　）内は該当区分を丸で囲み、【　　】内は教科や分野を記入する。
注３　研修歴、職歴は古い順から記入する。（欄が不足する場合は適宜追加して記入する）
注４　教育研究所の（　　）内には研修の内容を記入する。

上記の内容について、事実と相違ないことを証明します。

令和元年　　月　　日

立　　校長・園長　　公印

（様式２－３）※高等学校、中等教育学校（後期課程）籍【長期社会体験研修】

履　　歴　　書

（令和２年３月３１日現在）

氏（ふりがな）名		職員番号		写真貼付 （上半身） 4cm×3cm
生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日　（　　歳）			
所 属 校				
現 住 所	（　　－　　－　　）			
最終学歴	（昭和・平成　　年　　月　卒・修）			
教育職員 免 許 状 （すべて記入）	小学校（専・１・２）　養　　護（専・１・２）　栄　　養（専・１・２） 中学校（専・１・２）【　　】　特別支援（専・１・２） 高　校（専・１）【　　】　幼 稚 園（専・１・２）			
資 格 等		運転免許証	有・無	
研 究 ・ 研 修 等				

職　　歴

勤　務　先	勤務年数	勤　務　先	勤務年数
		教職経験年数	

注１　現住所は市町村から記入し、（　）内には電話番号を記入する。
注２　教育職員免許状は所持しているものすべてを記入する。（　　）内は該当区分を丸で囲み、【　　】内は教科や分野を記入する。
注３　職歴は古い順に現任校まで記入する。

上記の内容について、事実と相違ないことを証明します。

令和元年　　月　　日

立　　校長　　公印

（様式２－４）※高等学校、中等教育学校（後期課程）籍【特別研修】

履　　歴　　書

（令和２年３月３１日現在）

ふりがな 氏　　名		生年月日	昭和・平成 年　　月　　日 （　　歳）
所 属 校		職員番号	
現 住 所	（　　－　　－　　）		
最終学歴	（昭和・平成　　年　　月　卒・修）		
教育職員 免 許 状 （すべて記入）	小学校（専・１・２）　養　　護（専・１・２）　栄　　養（専・１・２） 中学校（専・１・２）【　　】　特別支援（専・１・２） 高　校（専・１）【　　】　幼 稚 園（専・１・２）		
校務分掌	学年（担任・担任外）　　分掌		
資 格 等		運転免許	有　・　無

職　　歴

勤　務　先	勤務年数	勤　務　先	勤務年数
		教職経験年数	

注１　現住所は市町村から記入し、（　）内には電話番号を記入する。
注２　教育職員免許状は所持しているものすべてを記入する。（　　）内は該当区分を丸で囲み、【　　】内は教科や分野を記入する。
注３　職歴は古い順に現任校まで記入する。

上記の内容について、事実と相違ないことを証明します。

令和元年　　月　　日

立　　校長　　公印

（様式３）

応　募　理　由　書

学校・園名
職　・　氏 名

１　応募理由

２　研修テーマ（最も希望する研修領域について）

３　具体的な研修方法

※　以下は、長期研修、長期社会体験研修、特別研修を重複して希望する者のみ、第２希望とする研修について記入する。

２－２　研修テーマ（第２希望の研修の研修領域について）

３－２　具体的な研修方法

（様式４）

推　　薦　　書

群馬県教育委員会教育長　様

令和２年度教育研修員として、下記の者を推薦いたします。

記

１　推薦する教員

学校・園名

職 ・ 氏 名

２　校長・園長の推薦理由

令和元年　　月　　日

立　　校長・園長　　公印

※　以下は市町村、学校組合教育委員会用

３　教育長の推薦理由

令和元年　　月　　日

教育委員会教育長　　公印